

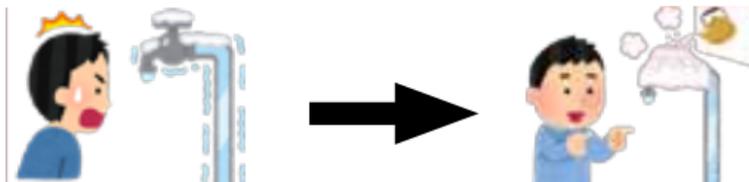
知っておきたい！

防災 減災 知恵袋

Vol.21 水道管の凍結に注意してください

年末年始から冷害や雪害によるさまざまな被害が全国各地で報道されています。この下北でも、各家庭で注意していただきたいのが、気温の低下による水道管の凍結です。

水道管が凍結すると、私たちの生活に必要なライフラインが止まってしまうだけでなく、凍結したまま無理矢理水を流すと水道管が破裂し、漏水することで、建物などが浸水してしまう可能性があります。冬期は、地震や風水害への災害対策だけでなく、水道管の凍結防止対策を講じるとともに、凍結してしまった場合に備えた飲料水等の備蓄も準備するようにしましょう。



～水道管の凍結で注意したいポイント～

(1)こんな場合は注意が必要！

- ・最低気温が－4℃以下になるとき
- ・災害時の避難や家を留守にするなど、長時間水道を使用しないとき
- ・建物の外壁際などに水道管が露出している場合
- ・北向きの日陰や風あたりが強いところに水道管がある場合

(2)水道管の凍結防止対策

- ・水道管に保温材を巻き付け、直接外気に触れないようにする。
- ・水道を使用しないときは、水道管の水抜きをしておく。

(3)水道管が凍結してしまったら

- ・自然に溶けるまで待つか、凍結したところにタオルなどを巻き付けて、その上からぬるま湯をゆっくりとかけてください。なお、熱湯をかけると、水道管が破裂するおそれがありますので注意しましょう。

水道管凍結について **問** むつ市水道お客様センター ☎ 31-1132

雪害について **問** 防災安全課

内線 2134